

令和6年度入学試験問題

地理歴史

注意事項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は、全部で25ページある。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ること。)

問題冊子の中に下書き用紙が1枚入っている。

世界史	1～6ページ
日本史	7～13ページ
地理	14～25ページ

- 3 解答用紙は、問題冊子とは別になっている。
- 4 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 5 受験番号は、各解答用紙の指定された2箇所に必ず記入すること。
- 6 解答時間は、90分である。
- 7 問題冊子および下書き用紙は、持ち帰ること。

世界史

1 次のA～Fは、世界史を学ぶうえでよく知られている文言である。これらを読み、問1～問8に答えよ。

A 王(国王)は君臨すれども統治せず

B 扶清滅洋

C エジプトはナイルのたまもの
(a)

D 代表無くして課税なし

E 会議は踊る、されど進まず

F そこで君主は、野獣の気性を適切に学ぶ必要があるのだが、このばあい、野獣のなかでも、^{きつね}狐とライオンに学ぶようにしなければならない。(出典：『君主論』中央公論新社)

問1 Aは、イギリス国王の政治的立場を象徴することばである。これは、

によりハノーヴァー朝がひらかれたあと、議会政治や 制が確立していった政治的状況をあらわす。空欄 と に適当な語句を入れよ。

問2 Bのスローガンを掲げた、山東省で生まれた宗教的武術集団の名称を記せ。

- 問 3 Cを『歴史』という書物に書き記した人物の名前を記せ。
- 問 4 下線部(a)に関連して、第一次世界大戦後、エジプトにおいてイギリスからの独立運動の中心となった政党の名称を記せ。
- 問 5 Dは、ある法律に反対する運動のスローガンである。その法律の名称と、Dのスローガンの内容を説明せよ。
- 問 6 Eは、ある会議を風刺したことばである。その会議を主導したオーストリア外相(のち宰相)の名前を記せ。
- 問 7 Fは、フィレンツェの政治家・思想家マキアヴェリの『君主論』のなかの一節で、この書で政治を宗教や道徳から切りはなす近代的な政治観が提示された。このような考え方を生み出した文化運動の名称を記せ。またその文化運動について、次の語句をすべて用いて120字以内で説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

ヒューマニズム	理性
---------	----

- 問 8 A～Fについて、これらの文言がはじめて記されたり、語られたりするようになった年代を、古い順にならべよ。解答にあたっては、A～Fのアルファベットを用いよ。

2 次の A・B の文章を読み、問 1～問 5 に答えよ。

A 明の初代皇帝である **ア** は、自分の子らを王として各地に配置していた。第 2 代皇帝の **イ** が諸王の削減を進めると、これに反発した燕王は挙兵し、永楽帝として即位した。この政変を **ウ** と呼ぶ。永楽帝は都を **エ** へと移したほか、**オ** が率いる艦隊を東南アジアやインド洋に派遣し、ベトナム へも出兵するなど積極的な対外政策を展開していった。

B 明代には、北方で貿易をめぐる紛争が生じるようになり、15 世紀半ばには 土木の変 もおこった。16 世紀になると国際貿易の活発化にともない、明の統
制的な貿易政策は転換されることになる。 明からは陶磁器や生糸が輸出され、
その代価として大量の銀が流入した。銀は社会に広く浸透し、貿易だけでなく 税制のあり方にも大きな影響を与えた。

問 1 空欄 **ア** ～ **オ** に適当な語句を入れよ。

問 2 下線部(a)に関して、明を撃退した後、儒教を振興するなどして国家体制を固めたベトナムの王朝の名称を記せ。

問 3 下線部(b)に関して、土木の変とはどのような事件であったのか説明せよ。

問 4 下線部(c)に関して、16 世紀における周辺勢力の活動と明の貿易政策転換について、次の語句をすべて用いて 100 字以内で説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用した箇所には下線を引くこと。

倭寇 アルタン

問 5 下線部(d)に関して、16 世紀と 18 世紀にそれぞれ中国に導入された税制の名称とその概要を説明せよ。

3 は次ページ

3 次のA・Bを読み、問1～問6に答えよ。なお史料Aは一部を省略し、一部の表現をあらためている。

A 80年以上のあいだフランスの植民主義者たちは、自由、平等、博愛の旗を濫用し、われわれの国土を占領し、われわれの同胞を圧迫してきた。……1940年の秋、日本のファシストたちが連合国に対する戦闘の目的で、新らしい軍事基地をつくるためインドシナに侵略してきたとき、フランスの植民主義者たちはかれらの前に膝を屈し、われわれの国土をかれらに引きわたした。この日から、われわれ人民は日本とフランスの二重の支配をうけてきた。……われわれは、テヘラン、サンフランシスコ両会議において民族平等の原則をみとめた連合国が、ベトナムの独立をみとめざるを得ないと確信している。……われわれベトナム民主共和国臨時政府構成員は、全世界にむかっておごそかに宣言する。ベトナムは自由と独立の権利をもっている、そしてベトナムは自由、独立の国家である。(a) ([ベトナム民主共和国独立宣言][1945年]、出典：高木八尺・末延三次・宮沢俊義編『人権宣言集』岩波書店)

B 第二次世界大戦後、世界ではアメリカ合衆国を中心とする資本主義諸国と、ソ連を中心とする社会主義諸国の間で、「冷戦」(c)と呼ばれる対立が深まっていた。一方アジアでは、日本の敗戦とその戦後処理をきっかけとして、「熱い戦争」が繰り広げられた。また、東西陣営のいずれにも属さず、積極的中立を掲げる動きが、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国から生まれたが、これらは **ア** と呼ばれた。

1954年、周恩来とネルーの会談が行われたあと、中国・インドに加えて、エジプトのナセル大統領やインドネシアのスカルノ大統領らの主導により、翌1955年(4)にバンドン会議が開催された。この会議は、アジア・アフリカ諸国の民族運動に大きな影響を与えた。一方、チベットでは、中国による統治を巡って反乱がおこり、仏教指導者である **イ** がインドに亡命した。そのため中国とインドのあいだで緊張が高まり、1962年には軍事的衝突へと発展した。また1965年、軍事クーデターである **ウ** により、スカルノ大統領は失脚する。こうして、アジア・アフリカ諸国の連携の動きは、急速に退潮することとなった。

問 1 空欄 ～ に適当な語句を入れよ。

問 2 史料Aに関連して、この独立宣言を行った人物の名前と、この人物の主導のもと、1941年に日本占領下のフランス領インドシナで結成された民族戦線の名を記せ。

問 3 下線部(a)に関連して、下記の空欄 ～ に適当な語句を入れよ。

カンボジアは、1953年に国王 のもとで、フランスから完全独立するが、1970年にこの人物は、親米勢力によって追放される。その後、カンボジアでは、この親米勢力と が指導する左派勢力との間で内戦がおこった。

問 4 下線部(b)に関して、フランスはベトナム民主共和国の独立を認めず、1946年にインドシナ戦争が始まった。この戦争について、次の語句をすべて用いて100字以内で説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

問 5 下線部(c)に関して、1954年9月、アメリカ合衆国の主導により、東南アジアにおける共産主義勢力の拡大を阻止するために結成された組織の名を記せ。

問 6 下線部(d)に関して、ナセル大統領がおこなったエジプトの近代化政策について、次の語句をすべて用いて90字以内で説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。